（第三種郵便物認可　大正八年三月七日）

夕刊 石城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所　磐城時報社
發行　一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

第四校建設問題
全員委員會に移す
持て余した學務委員會

第四小學校を公約に基いて建設すべきか、第三校を增築して時を凌ぐかを協議する重大な學務委員會は十六日午後一時から町役場に開き理事者の外委員井上茂作、鈴木光吉、佐々木籠若、齋藤敏寶、萩原義雄、曾我直治、津田逵造、赤津千里の全員出席青沼町長が町財政上石城郡磐崎村藤原川改修工事に關して疑獄事件が發覺したらし昭和八年度には第三校に工費一萬八千圓余圓で九學級の增築をなすに止めたいと意見を述べたが、委員の意嚮としては重大問題であるから町會議員全部の協議會を開き協議するのは妥當であらしく事件の全貌曝露と共に一時から全員委員會を開く事に高木某が磐崎村議數名に贈賄し磐崎村村議の大半が司直の裁きを受けるものと見られてゐる。なつた。

第三校增築案は
一時の彌縫策
昨夜町民大會で
第四校實現の決議

第四小學校建設問題に關する南進に關し熱辯あり、齋藤南町區町、銀治町、材木町有志主催の町が座長となり左の決議案を決町民大會は十六日午後六時から議し十七日代表者が町當局を訪聚樂館に開催、主催者の挨拶にれ理事者に手交する事になり午次いで區民數名の第四校實現促後九時散會した。

決議文

吾々町民は町當局の斃明せる第二小學校增築案なるものはその實際上より見るも、就學兒童の實際上より見るも一時を以て斷然之に反對し昭和五年度町會に於て決議せる第四小學校新築の實現を期す。

小田部平警察署長に
脅迫狀舞ひ込む
内容は小名濱疑獄事件
犯人の目星つく

小田部平警察署長小田部秀雄氏宛に數日前左樣に出るなら當方にもそれる。町、郵便で脅迫狀が郵送されたので相當の手段も考へもある

との如き意味のもので小田部署長以下激怒して事情を平檢事局浦村字細谷吉田久之進方の火災に報告すると同時に鈴木省三關に出動した草野村消防組第一部するに至つた。日に書類のみ送檢の運びに至る樣である。尚ほ中土木監督所では十四日午後同村當局に對し同工事一切の中止を命令し明十八日同監督所より技術官が出張直接工事を繼續する事になつた

小名濱測候所に
一萬圓で驗潮儀
岡田博士實地調査

報知新聞社の講演と映畫

報知新聞社の在滿皇軍慰問經過報告講演の縣下における第一聲はいよ〳〵今十七日午後六時から平町聚樂館にあげられる。前人氣既報の如く何しろ全町を席臺の命に接して海洋氣象の觀測取押えた。女給等は共濟病院有馬醫師の手當をうけてゐる。

▲衛生主任會　四倉警察

署管内二町四ヶ村の衛生主任會は十八日午前十時より同署に開催する。

七十の老人
伐木中壓死

石城郡澤渡村大字下市萢折笠順太郎（七二）は十五日午前十一時頃自家所有山林で伐木中風のため大木が倒れその下敷となり壓死を遂げた。

小川の事件
けふ送局か

石城郡上、下小川組合村に勃發した匪救道路工事不正事件の徹底的調査のため十五日も平署高橋司法主任は引續き上小川村に出張し取調べを行つてゐるが、事件の中心人物田久乘治（五二）には別個に詐欺横領私有林伐採その他幾多の罪狀がひそんでゐるので田久の身柄は平署に引續き留置し今回の不正事件は十七日に書類のみ送檢の運びに至る樣である。尚ほ中土木監督所では十四日午後同村當局に對し同工事一切の中止を命令し明十八日同監督所より技術官が出張直接工事を繼續する事になつた

▲古物商組合會　四倉

管内古物商組合總會は二月二十五日午前十時から町會を招集し八年度豫算及び上水道竣功式日取その他を附議する。

改修工事の
疑獄事件

石城郡磐崎村藤原川改修工事に關して疑獄事件が發覺したらし平檢事局と打合せ秘密裡に活動中であるが、事件の内容は昨年十月中平町請負業者高木某が磐崎村議數名に贈賄し平署長小田部秀雄氏宛に數日前相當の手段も考へもある

四倉管内
消防幹部會

四倉署管内二町四ヶ村の消防幹部大會は三月三日午前九時より四倉町海盛座に於て開催、議長橋司法主任は引續き上小川村に出張し取調べを行つてゐるが、事件の中心人物田久乘治（五二）には別個に詐欺横領私有林伐採その他幾多の罪狀がひそんでゐるので田久の身柄は平署に引續き留置し今回の不正事件は十七日に書類のみ送檢の運びに至る樣である。尚ほ中土木監督所では十四日午後同村當局に對し同工事一切の中止を命令し明十八日同監督所より技術官が出張直接工事を繼續する事になつた

▲消防手負傷　十五日大

その他幾多の罪狀がひそんでゐるので田久の身柄は平署に引續き留置し今回の不正事件は十七日に書類のみ送檢の運びに至る樣である。尚ほ中土木監督所では十四日午後同村當局に對し同工事一切の中止を命令し明十八日同監督所より技術官が出張直接工事を繼續する事になつた

平機關庫機關手が
洋食屋で亂暴

平機關庫車掌平町仲間町居住大谷次郎（三一）假名は十六日夜半及び同家の娘北郷イサオ（一七）の兩名を毆打し重傷を負はせた町白銀町洋食店惠比須屋方で飲酒し泥醉して女給ヒナ子（二一）に當り東部、南部に夫々候補地をトし互にその實現を期し自說を固持して讓らなかつたが、當時の町會は自治會の紛糾を憂慮し愼重協議の結果同年七月全會一致を以て左の議決をなした

イ、第三小學校は昭和五年度新學期迄に十二學級の校舍を正内町に建設すること

ロ、第四小學校は南町裏方部に新築の豫定地を選定し五千四百坪以内の土地を買收し昭和五年より新築に着手すること

以上の妥協により各關係區民も之を納得し該問題も圓滿裡に解決を見たのである

一、增築と新築との經費

町當局の概算に依れば第三小學校の增築費は一萬八千圓で第四小學校の新築費は十萬八千圓であるが、差當り必要を限度として十八學級の校舍を新築するとすれば約九萬圓で濟むのであるから其差額は七萬二千圓に過ぎない。低金利の今日第三校增築見合せによつて生ずる一萬八千圓を第四校新築費の一部に充當すれば問題はないのである

一、町財政

町債償還年額は約七萬六千圓に上ることは事實であるが、現在の水道收入七萬三千圓の内水道經常費を控除したる四萬六千圓の收入を前記償還に繰入れば眞に町民の負擔となるべき金額は僅々二萬圓に過ぎないので、町當局が苦慮する所謂財政難は聊か訝大の嫌がある

一、眞に町財政を思はば第四小學校の建設が先決

以上述ぶるが如く第二小學校の增築は一時の彌縫策であるのみならず後きの決議を無視し建築の不安を醸みす徒らに町財政難に藉口して立ち遲したるものと云はなければならぬ眞に町財政を憂ひ兒童教養を思はば斷然第四小學校の新築に邁進すべきである

世界の名湯國立療養所の所在地
別府の天然家庭温泉
命の洗濯

一、温まる事は天然温泉と變ありません
一、萬病に霊驗的効果のある天下の別府温泉を日常家庭で湯治の出來る重寶な家庭温泉
一、從來の浴劑を斷然優超せる新發見劑
一、石鹸の使用は出來る、白粉の伸を良くす、皮膚を美化する理想的浴劑

疲勞回復　健康增進の鍵
病魔征服　傳染病豫防の武器

眞の温泉療法は―若葉の三四月から―夏に於て最有効な時期です、是非御試用願ひます。

六回分（二日使用）十二錢五十
十四回分（同廿八日分）一圓
三十四回分（同二ヶ月八日分）二圓

平町四丁目
命の洗濯代理店　**小野屋藥舗**
電話一四四番

急性慢性を問はず
淋疾は立派に全治す
（一）淋疾尿道炎、（二）消渇、（三）膀胱カタルには驚く可き効目がある
高級治淋新藥　**トリプチン**　一圓二圓三圓
特約店　**大平屋藥店**
電話六四二番

專門　內科一般
〔內科ハ何デモ診療致マス〕
〔呼吸器病バカリデハアリマセン〕
平町南町六五改（電話一八一番）
醫學士　**川井重之**
女醫　**川井安子**
川井內科診療所

耳鼻咽喉科專門
平町田町七十番地
醫學士　**山內亨吉**
山內醫院
入院隨意
病室完備
電話六九一番

タクシー界の寵兒
皆樣の昭和！
いつも新車にて御目見得致します
倍舊の御愛顧と御聲援願ひます
平驛前
昭和タクシー
電話三四三番

廣告
新任外科部長
內科學士來任
七月十一日ヨリ毎日診療ニ從事ス
內臟外科
整形外科
泌尿器科
醫學士　**內木宗八**
昭和七年七月
平町新川町十九番地
外科
產婦人科
木村病院
電話一六四番

和洋銅鐵　金物問屋
釜屋商店
電話九番・九九番

內科　婦人病　十二指腸虫病
專門
胃腸病　肝臟病
松村醫院
平町南町　【電話一〇七番】

御華客樣本位の弊店で如何にして手輕にしかも上品な御料理をと考へて居りました處今度左の樣な獻立に寄りましてせい〳〵お氣に召します樣に御勉強致しますれば何卒御尊來御試食の程伏して御待ち申上げます。

ひな鳥　御一人前
水たき　金五十錢
新鮮　御一人前
鯛茶漬　金五十錢
料理四品酒一本付　金壹圓
今日の獻立
お椀盛　鴨生麩
おさしみ　椎たけ生かもじねぎ
焼物　あら西京漬かにバタ焼
食事　酢取生姜れんこん草
小井ふきんからし
◎料理は毎日獻立を變へて調理致します
◎御宴會・出前は如何樣にも御相談に應じます
割烹旅館　**住吉屋本店**
電話一五九番

難波醫院
內科一般
醫學博士　難波睦
平町大町新川端
電話（五〇二番）

10日
體溫計の檢査日です
機械檢査新設
お宅の體溫計は？
◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の檢査日御利用下さい
度量衡計量器指定販賣人
西村屋藥局
電三番